

| |
|---|
| 1. プログラム名称 |
| 岩手県立久慈病院総合診療専門医養成後期研修プログラム |
| 2. 専攻医定員 |
| <p>1年あたり（ 2 ）名 （×研修期間年数＝総定員 6名）</p> <p>基幹施設および連携施設が他プログラムの連携施設・基幹施設にもなる（いわゆる相乗りプログラムがある）場合は、 <整備基準 27>の「専攻医受入数についての基準」を参照した上で研修に支障のない人数にとどめること。</p> |
| 3. プログラムの期間 |
| （ 3 ）年間 |
| 4. 概要 |
| <p>A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長</p> <p>久慈医療圏は1市1町2村の人口約6万人ですが、久慈病院には、岩泉町、葛巻町、田野畑村など医療圏外からも沢山の救急患者さんが搬入されます。県都盛岡まで120km離れたこの地で県立久慈病院は医療圏の中心として機能しています。久慈医療圏における久慈病院の役割は病院や診療所、開業医の先生方などとの密な連携によって、可能な限り地域で完結する安全で質の高い医療を患者さんに提供する事です。平成24年にスタートした岩手県ドクターヘリは、実績を確実に増やしておりますが、平成26年1月に病院敷地内にヘリポートが完成した事により、患者搬送・搬入が10数分短縮されました。脳卒中や心筋梗塞・外傷などの早期治療開始による、更なる救命率の向上が期待出来ると確信しております。また、県立久慈病院スタッフと医療圏病院、診療所の先生方はもちろん、歯科医師会、薬剤師会、久慈市行政、保健所職員などと顔の見える連携を研修会などを通じて構築しています。このような連携機能が強化された医療圏で総合医として後期研修を行うことは、背景の地域、生活を考えながらひとりの患者さんの健康と幸せをコーディネートする全人的医療人が育成されることに繋がると確信します。</p> <p>B. プログラムの理念、全体的な研修目標</p> <p>理念：患者中心の思考で、かつ、患者を取り巻く状況を理解し、多職種連携によるチームワークであらゆる問題に対応できる臨床医を育成する</p> <p>研修目標：①患者に対して疾患による境界を設けず多様な視点を持てる ②患者の生物学的問題だけでなく心理社会的問題を見る視点を持てる ③臓器、ヒトにとどまらず、家庭、地域、行政を俯瞰する広い視点を持てる</p> <p>C. 三年間を通じて行われる勉強会・カンファレンス等の教育機会</p> <p>定期的なTV会議システムによるカンファレンス</p> <p>ポータルフォリオ勉強会や作成指導</p> |

D. ローテーションのスケジュールと期間

(4年以上のプログラムの場合は、枠を増やして4年目以降のローテーションについても記載すること)

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----|-------------|----|----|----|----|----|-----------|-----|-----|------|----|----|
| 1年目 | 施設名 | 岩手県立久慈病院 | | | | | | | | | | | |
| | 領域 | 必修内科 | | | | | | 必修小児科 | | | 必修救急 | | |
| 2年目 | 施設名 | 国民健康保険山形診療所 | | | | | | | | | | | |
| | 領域 | 総合診療専門研修Ⅰ | | | | | | | | | | | |
| 3年目 | 施設名 | 岩手県立久慈病院 | | | | | | | | | | | |
| | 領域 | 必修内科 | | | | | | 総合診療専門研修Ⅱ | | | | | |

※「総診Ⅰ」、「総診Ⅱ」、「内科」、「小児科」、「救急」、「その他」という表記で記入してください。

※ 代表的な例を書いてください。募集定員全員のローテーション表は不要です。

| | | | | |
|--------------|---------------------|--------------|--------------------|--|
| 総合診療 専門研修 | 総合診療専門研修Ⅰ (12)カ月 | | 総合診療専門研修Ⅱ (6)カ月 | |
| 必修 研修 | 内科 (12)カ月 | 小児科 (3)カ月 | 救急科 (3)カ月 | |
| 領域別 研修 | 整形外科 (3)カ月 | | | |

5. 準備が必要な研修項目

地域での健康増進活動

実施予定場所 (久慈保健所)

実施予定の活動 (健康教育 感染予防)

実施予定時期 ※どのローテーション中に実施するか

(総合診療研修Ⅰ)

教育(学生、研修医、専門職に対するもの)

実施予定場所 (岩手県立久慈病院)

実施予定の活動 (EBM, 診療、治療、看取りなど)

実施予定時期 ※どのローテーション中に実施するか (総合診療研修Ⅱ)

研究

実施予定場所 ()
 実施予定の活動 ()
 実施予定時期 ※どのローテーション中に実施するか
 ()

6. 専攻医の評価方法 (各項目を満たすとき、口を塗りつぶす (■のように))

※形成的評価と総括的评价を研修修了認定の方法も含めて具体的に記入してください。

形成的評価

- 研修手帳の記録及び定期的な指導医との振り返りセッションを定期的実施する (頻度: 研修全期間適宜)
- 最良作品型ポートフォリオ作成の支援を通じた指導を行う (頻度: 研修全期間適宜)
- 作成した最良作品型ポートフォリオの発表会を行う (頻度: ローテーション毎 参加者の範囲: 医師 メディカルスタッフ 事務)
- 実際の業務に基づいた評価 (Workplace-based assessment) を定期的実施する (頻度: ローテーション毎)
- 多職種による 360 度評価を各ローテーション終了時等、適宜実施する
- 年に複数回、他の専攻医との間で相互評価セッションを実施する
- ローテート研修における生活面も含めた各種サポートや学習の一貫性を担保するために専攻医にメンターを配置し定期的に支援するメンタリングシステムを構築する
- メンタリングセッションは数ヶ月に一度程度を保証する

総括的评价

- 総合診療専門研修 I・II の研修終了時には、研修手帳に専攻医が記載した経験目標に対する自己評価の確認と到達度に対する評価を総合診療専門研修指導医が実施する。
- 内科ローテート研修において、症例登録・評価のため、内科領域で運用する専攻医登録評価システム (Web 版研修手帳) による登録と評価を行う。研修終了時には病歴要約評価を含め、技術・技能評価、専攻医の全体評価結果を内科指導医が確認し、総合診療プログラムの統括責任者に報告する。
- 3ヶ月の小児科の研修終了時には、小児科の研修内容に関連した評価を小児科の指導医が実施する
- 3ヶ月の救急科の研修終了時には、救急科の研修内容に関連した評価を救急科の指導医が実施する
- 以下の基準でプログラム統括責任者はプログラム全体の修了評価を実施する
 - (1) 研修期間を満了し、かつ認定された研修施設で総合診療専門研修 I および II 各 6 ヶ月以上・合計 18 ヶ月以上、内科研修 6 ヶ月以上、小児科研修 3 ヶ月以上、救急科研修 3 ヶ月以上を行っており、それぞれの指導医から修了に足る評価が得られている
 - (2) 専攻医自身による自己評価と省察の記録、作成した最良作品型ポートフォリオを通じて、到達目標がカリキュラムに定められた基準に到達している
 - (3) 研修手帳に記録された経験目標が全てカリキュラムに定められた基準に到達している
 なお、研修期間中複数回実施される、医師・看護師・事務員等の多職種による 360 度評価 (コミュニケーション、チームワーク、公益に資する職業規範) の結果も重視する

研修修了認定の方法 (総括的评价結果の判断の仕方・修了認定に関わるメンバー)

修了判定会議のメンバー

- 研修プログラム管理委員会と同一
- その他 ()

修了判定会議の時期 (プログラム終了時)

7. プログラムの質の向上・維持の方法

研修プログラム管理委員会

委員会の開催場所 (岩手県立久慈病院 大会議室)
 委員会の開催時期 (9 月、3 月)

専攻医からの個々の指導医に対する評価

評価の時期 (ローテーション毎)
 評価の頻度 (ローテーションで 1 回)
 評価結果の利用法 (指導医へのフィードバック)

研修プログラムに対する評価

評価の時期 (年度末)
 評価の頻度 (1 年に 1 回)
 評価結果の利用法 (研修医委員会の検討材料)

| 8. 基幹施設 | | | |
|---|--|---------|--|
| 研修施設名 | 岩手県立久慈病院 | | |
| 所在地 | 住所 〒028-8040 岩手県久慈市旭町 10-1 電話 0194-53-6131 FAX 0194-52-1627 E-mail kuji-hp@hotmail.co.jp | | |
| プログラム統括責任者氏名 | 遠野千尋 | 指導医登録番号 | |
| プログラム統括責任者 部署・役職 | 副院長 | | |
| 事務担当者氏名 | 加藤吉彦 | | |
| 連絡担当者連絡先 | 住所 〒028-8040 岩手県久慈市旭町 10-1 電話 0194-53-6131 FAX 0194-52-1627 E-mail kuji-hp@hotmail.co.jp | | |
| 基幹施設のカテゴリー | <input type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅰの施設 <input checked="" type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅱの施設 <input type="checkbox"/> 大学病院 | | |
| <p>施設要件（各項目を満たすとき、<input type="checkbox"/>を塗りつぶす（<input checked="" type="checkbox"/>のように））</p> <ul style="list-style-type: none"> ■総合診療以外の 18 基本診療領域の基幹施設機能を、本プログラム統括責任者が所属する診療科あるいは部門では担当していない（プログラム基幹施設の役割を診療科・部門が兼任していない） ■本プログラム以外の総合診療専門研修プログラムを本基幹施設は運営していない ■プログラム統括責任者が常勤で勤務し、コーディネーターとしての役目を十分果たせるように時間的・経済的な配慮が十分なされている ■専門研修施設群内での研修情報等の共有が円滑に行われる環境（例えば TV 会議システム等）が整備されている ■プログラム運営を支援する事務の体制が整備されている ■研修に必要な図書や雑誌、インターネット環境が整備されている <ul style="list-style-type: none"> ※研修用の図書冊数（ 16400 ） ※研修用の雑誌冊数（ 62 ） ※専攻医が利用できる文献検索や二次資料の名称（ メディカルオンライン 医学中央雑誌 ） ※インターネット環境 <ul style="list-style-type: none"> ■LAN 接続のある端末 ■ワイヤレス ■自施設で臨床研究を実施したり、大学等の研究機関と連携した研究ネットワークに加わったりするなど研究活動が活発に行われている <p>具体例（ 北三陸ネットで多施設と情報交換をしながら、行政、保健所とも連携してフィールド調査を行う）</p> | | | |

| 9. 連携施設 | |
|---------------|---|
| 連携施設名 | 国民健康保険山形診療所 |
| 所在地 | 〒028-8602 岩手県久慈市山形町川井 9-44-8 電話 0194-72-2033 FAX 0194-72-2321 E-mail hiroyuki1956yoshida@gmail.com |
| 連携施設担当者氏名 | 吉田弘明 |
| 連携施設担当者 部署・役職 | 院長 |
| 事務担当者氏名 | 吉田順子 |
| 連絡担当者連絡先 | 〒028-8602 岩手県久慈市山形町川井 9-44-8 電話 0194-72-2033 FAX 0194-72-2321 E-mail |

| 9. 連携施設 | |
|---------------|--|
| 連携施設名 | 洋野町国民健康保険種市病院 |
| 所在地 | 〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市 23-27-2 電話 0194-65-2127 FAX 0194-65-3909 E-mail byoin@town.hirono.iwate.jp |
| 連携施設担当者氏名 | 磯崎 一太 |
| 連携施設担当者 部署・役職 | 院長 |
| 事務担当者氏名 | 竹高 隆一 |
| 連絡担当者連絡先 | 〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市 23-27-2 電話 0194-65-2127 FAX 0194-65-3909 E-mail taketaka224@town.hirono.iwate.jp |

総合診療専門研修 I

総合診療専門研修 I の施設一覧

| 都道府県コード | 医療機関コード | 施設名 | 基幹施設・連携施設の別 |
|---------|---------|-------------|--|
| 03 | 071044 | 国民健康保険山形診療所 | <input type="checkbox"/> 基幹施設 <input checked="" type="checkbox"/> 連携施設 |
| 03 | 3110157 | 国民健康保険種市病院 | <input type="checkbox"/> 基幹施設 <input checked="" type="checkbox"/> 連携施設 |
| | | | <input type="checkbox"/> 基幹施設 <input type="checkbox"/> 連携施設 |
| | | | <input type="checkbox"/> 基幹施設 <input type="checkbox"/> 連携施設 |

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

| | | | |
|--|---|---------|-----|
| 研修施設名 | 国民健康保険山形診療所 | | |
| 診療科名 | (内科 外科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。 | | |
| 施設情報 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 () 床 診療科病床数 () 床 | | |
| 総合診療専門研修 I における研修期間 | (12) カ月 | | |
| 常勤の認定指導医の配置の有無 | <input type="checkbox"/> 配置あり <input checked="" type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> へき地・離島であると都道府県により法的に指定されている地区の施設である その場合のサポート体制 (基幹病院常勤認定指導医の定期的カンファランス) | | |
| 研修期間の分割 | <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい () | | |
| 常勤指導医氏名 1 | 吉田弘之 | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 2 | | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 3 | | 指導医登録番号 | () |
| 要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (<input checked="" type="checkbox"/> のように)) | | | |
| 研修の内容 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 | | | |

| | | | |
|--|---|---------|-----|
| 研修施設名 | 洋野町国民健康保険種市病院 | | |
| 診療科名 | (内科 外科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。 | | |
| 施設情報 | <input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (45) 床 診療科病床数 (45) 床 | | |
| 総合診療専門研修 I における研修期間 | (12) カ月 | | |
| 常勤の認定指導医の配置の有無 | <input type="checkbox"/> 配置あり <input checked="" type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (基幹病院常勤認定指導医の定期的カンファランス) | | |
| 研修期間の分割 | <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい () | | |
| 常勤指導医氏名 1 | | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 2 | | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 3 | | 指導医登録番号 | () |
| 要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (<input checked="" type="checkbox"/> のように)) | | | |
| 研修の内容 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加 | | | |
| 施設要件 | | | |
| 後期高齢者診療 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている | | | |
| 学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている | | | |
| <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する | | | |
| <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか () | | | |
| <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 () | | | |
| 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (基幹久慈病院小児科との連携および保育園、幼稚園、小学校、中学校職員との連携) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (救急告示病院であること) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (主治医として診療を行う) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (病棟における診療、予防接種や各種健診・検診の実施) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (二次医療圏の中核病院である県立久慈病院との連携、特養ホーム等との医療協力協定の締結) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 (インフルエンザ、胃腸炎などの感染症の治療) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 (地域に出向き出前健康講座を実施) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 (訪問診療：15 回/月、往診：1.5 回/月) | | | |
| 診療実績 (各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (<input checked="" type="checkbox"/> のように)) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400 名以上/月 | | | |
| <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 () | | | |

□のべ訪問診療数 20 件以上／月

■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している

具体的な体制と方略（特養ホームにおける週 1 回の回診、介護施設における月 1 回の回診）

研修中に定期的に行う教育

当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会

（医局における勉強会：週 1 回、医療安全推進委員会：月 1 回、感染防止対策研修会：年 2 回、医療安全研修会：年 2 回）

他の施設で行う教育・研修機会

（研修基幹病院での週 1 回の研修会・勉強会への参加）

他のプログラムに参加される場合は以下の欄を記載すること

本プログラム以外の参加プログラム数 （ 3 ）

プログラム名（いわて三陸海岸連携内科プログラム）

プログラム名（岩手県立中央病院内科専門研修プログラム）

プログラム名（岩手医科大学総合診療専門研修プログラム）

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー＆ペーストして記載すること

総合診療専門研修Ⅱ

総合診療専門研修Ⅱの施設一覧

| 都道府県コード | 医療機関コード | 施設名 | 基幹施設・連携施設の別 |
|---------|---------|----------|-------------|
| 03 | 0710355 | 岩手県立久慈病院 | ■基幹施設 □連携施設 |
| 03 | 1110498 | 岩手県立釜石病院 | □基幹施設 ■連携施設 |
| 09 | 5210074 | 自治医科大学 | □基幹施設 ■連携施設 |
| | | | □基幹施設 □連携施設 |

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

| | | | |
|--|---|---------|-----|
| 研修施設名 | 岩手県立久慈病院 | | |
| 診療科名 | (総合診療科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。 | | |
| 施設情報 | 病院病床数 (291) 床 診療科病床数 (10) 床 | | |
| 総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間 | (6) カ月 | | |
| 常勤指導医の有無 | <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> へき地・離島であると都道府県により法的に指定されている地区の施設である その場合のサポート体制 () | | |
| 研修期間の分割 | <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい () | | |
| 常勤指導医氏名 1 | 遠野千尋 | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 2 | | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 3 | | 指導医登録番号 | () |
| 要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように)) | | | |
| 研修の内容 | | | |
| ■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する | | | |
| 施設要件 | | | |
| ■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している | | | |
| 病棟診療 ：以下の全てを行っていること | | | |
| ■高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略(入院患者の7割、外来患者の6割が高齢者であり特に介護を要する虚弱高齢者が多いことから総合診療科が窓口になり診療を担当することが多い) | | | |
| ■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略(循環器科、消化器科などの内科的慢性疾患の患者で健康障害が発生した時には専門的治療を要さない場合は総合診療科で新入院に対応している) | | | |
| ■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略(当院に常勤する各診療科の専門性を要する治療が必要な時は各科に受け持ちを担当してもらうか、当科入院のまま加療をしてもらうことがある。したがって総合診療科入院でも専門性を必要とする治療は提供している) | | | |

| |
|--|
| <p>■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略（入院患者で、単なる疾病問題だけでなく心理、社会、倫理的問題のある複雑事例はソーシャルワーカー、退院支援専任看護師、臨床心理士、院外の地域医療資源のスタッフなどと連絡をとりあい地域全体で解決を図れるよう連携を構築している）</p> |
| <p>■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略（院内緩和ケアチームとの連携があり、疼痛苦痛緩和に難渋するときはコンサルトにて総合診療科のスタッフだけでなく院内全体で緩和ケアに関わる体制を作っている）</p> |
| <p>■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略（ソーシャルワーカー、退院支援専任看護師と協力し、患者、家族の希望の範囲で入院を要する場合は久慈医療圏にある敬愛病院や国保種市病院での療養目的の転院を協力していただいている。自宅退院の場合は在宅支援の医療資源を利用し訪問診療を当院から行っている）</p> |
| <p>■在宅患者の入院時対応 具体的な体制（予想しない急変時には検査、加療目的に当院に緊急入院をする体制となっている。特に高齢者の看取りが近いと考えられる患者においては総合診療科が窓口になり入院を受け持つことが多い）</p> |
| <p>外来診療：以下の診療全てを行っていること ■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略（救急外来においてかかりつけの患者はあらかじめ各科に診療依頼があり、各科が診療する。そのほかの場合の救急患者は専任救急専門医により初期治療が行われ、トリアージ及び重症患者では状態の安定化が行われる。その後、専門医療を要する場合は各科診療に引き継がれる）</p> |
| <p>■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略（前記の通りである。当院の内科的初診患者は明らかに消化器疾患、循環器疾患、脳神経疾患と判断される以外は、かかりつけ患者を除いて総合診療科が初期診療にあたる）</p> |
| <p>■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略（発熱、上気道炎、インフルエンザ、胃腸炎などよくある症状の時はかかりつけ患者を除き総合診療科が窓口になり初期診療に当たる）</p> |
| <p>■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（総合診療科スタッフが中心となり、医局内の研修医、有志の医師らで月1回の英文抄読会を通してEBMの勉強会を開催している。また、院内WiFi環境の整備など医療情報へのアクセスを常に改善している）</p> |
| <p>■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（退院支援とも関連するが、退院後も社会的問題がある患者に関しては行政と連絡をとりあり来院自己中断などの対応をしている）</p> |
| <p>■診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（各診療科へのコンサルトやさらに高度の検査、治療を行う、県立中央病院や岩手医科大学への紹介などを通して診断、治療に滞りのないように診療を進めている）</p> |
| <p>診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））</p> |
| <p>■当該診療科におけるのべ外来患者数 200名以上/月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ）</p> |
| <p>■当該診療科における入院患者総数 20件以上/月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ）</p> |
| <p>研修中に定期的に行う教育</p> |
| <p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （症例カンファレンス、カンサーボードなど） 他の施設で行う教育・研修機会 （健康講演など ）</p> |
| <p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄を記載すること</p> |
| <p>本プログラム以外の参加プログラム数 （ ） プログラム名（ ） プログラム名（ ） プログラム名（ ）</p> |

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

| | | | |
|--|---|---------|-----|
| 研修施設名 | 岩手県立 釜石病院 | | |
| 診療科名 | (総合診療科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。 | | |
| 施設情報 | 病院病床数 (272) 床 診療科病床数 (20) 床 | | |
| 総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間 | (6) カ月 | | |
| 常勤指導医の有無 | <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> へき地・離島であると都道府県により法的に指定されている地区の施設である その場合のサポート体制 () | | |
| 研修期間の分割 | <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい () | | |
| 常勤指導医氏名 1 | 吉嶺 厚生 | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 2 | | 指導医登録番号 | () |
| 常勤指導医氏名 3 | | 指導医登録番号 | () |
| 要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (<input checked="" type="checkbox"/> のように)) | | | |
| 研修の内容 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する | | | |
| 施設要件 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している | | | |
| 病棟診療 ：以下の全てを行っていること | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略 (高齢者の肺炎や尿路感染の患者は、ほとんど当科で対応する) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 (当科で受け入れ、専門科の診療が必要な場合、専門科へ転科となる) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 (専門科で治療すべき病態は速やかに専門科へ転科となる。連携はスムーズである。) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 (当科で受け入れ、必要なケアや社会的資源を評価、適切に提供できる科や施設へ引き継ぐ。) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 (がん患者は緩和ケア病棟へ入院するケースも多いが、末期患者、非がん患者については、当科で受け入れる。希望により看取りまで行うが、施設や在宅医療施設へ引き継ぐケースもある。) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 (ソーシャルケアワーカーを中心に退院支援を行い、他施設や介護職との調整を行っている。) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制 (開業医が担当する在宅患者の急変については当科で対応する。大槌地区はほとんど当院に搬送される) | | | |
| 外来診療 ：以下の診療全てを行っていること | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 (交通事故、骨折、狭心痛、吐血、下血以外のほとんど患者を担当する) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 (主訴や受診理由がはっきりしない患者、訴えが多く科が絞れない患者を含め当科で担当する) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 (感冒症状、頭痛、めまい等の first touch を行い、重篤な疾患を除外に努めている) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 (up to date などを用いた国際水準の医療の導入、ガイドラインに基づく医療の標準化) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略 (総合診療科が核になった各専門家へのコンサルトと情報の集約、俯瞰的な治療の管理) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略 (岩手県立中央病院、岩手医科大学への TV 回線を通じてのコンサルトなど) | | | |

| |
|--|
| 診療実績（各項目を満たすとき、口を塗りつぶす（■のように）） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 当該診療科におけるのべ外来患者数 200 名以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 当該診療科における入院患者総数 20 件以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ） |
| 研修中に定期的に行う教育 |
| 当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （ 症例検討会（毎週月曜日） 研修医勉強会（毎週水曜日） 救急症例カンファレンス（毎週木曜日） ） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ） |
| 他のプログラムに参加される場合は以下の欄を記載すること |
| 本プログラム以外の参加プログラム数 （ ） プログラム名（ ） プログラム名（ ） プログラム名（ ） |

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

| | | | |
|---|--|---------|--------|
| 研修施設名 | 自治医科大学附属病院 | | |
| 診療科名 | (総合診療内科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。 | | |
| 施設情報 | 病院病床数 (1061) 床 診療科病床数 (18) 床 | | |
| 総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間 | (3ヶ月～12) カ月 | | |
| 常勤指導医の有無 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> へき地・離島であると都道府県により法的に指定されている地区の施設である その場合のサポート体制 () | | |
| 研修期間の分割 | <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい () | | |
| 常勤指導医氏名 1 | 松村正巳 | 指導医登録番号 | (6293) |
| 常勤指導医氏名 2 | 畠山修司 | 指導医登録番号 | (6251) |
| 常勤指導医氏名 3 | | 指導医登録番号 | () |
| 要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (<input checked="" type="checkbox"/> のように)) | | | |
| 研修の内容 | | | |
| <input type="checkbox"/> 病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する | | | |
| 施設要件 | | | |
| <input type="checkbox"/> 一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している | | | |
| 病棟診療 ：以下の全てを行っていること | | | |
| <input type="checkbox"/> 高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略(高齢者総合評価を行い、ADLの維持向上、認知症の進行予防など総合的なケアを提供する。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略(患者中心の医療の方法を軸に、患者の意向や置かれた環境に即した問題の順位付けを行い、院内の専門家の力も動員して解決を図る。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略(他科コンサルトにより、多数の専門医との連携を図る。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略(臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、看護師など多職種との協働により、問題解決を図る。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略(緩和ケア科、臨床心理士との協働も含めあらゆる緩和ケアに対応している。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略(地域連携パス、退院指導看護師などの参加により、有効な地域諸資源の利用につなげる。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制(総合診療内科で10名前後の在宅患者のケアを行っている。入院が必要な場合は、継続的にケアを提供することができ、退院後の在宅再移行や施設利用などのマネジメントに関わっている。) | | | |
| 外来診療 ：以下の診療全てを行っていること | | | |
| <input type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略(当直帯では救命救急センターの当直医として、日中は、ウォークインの救急患者の担当医として、外来では初診担当医として診療を行っている。) | | | |
| <input type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略(臓器が特定できる患者は、それぞれの内科・外科が担当する院内の約束があるので、総合診療内科外来では、特定できない場合や、幅広い愁訴を持っている患者が診察を受けることになっている。) | | | |
| <input type="checkbox"/> よくある症候と疾患 | | | |

| |
|--|
| <p>具体的な体制と方略（上記に加え、ありふれた愁訴の疾患も総合診療内科外来で担当している。）</p> |
| <p>□臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（診療上の疑問、診断上の）</p> |
| <p>□複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（診療上の疑問、診断上の疑問をその日のうちに確定し、疑問の解決を行う。毎日16時には、全初診患者の診療について、外来担当医による振り返りを行っている。その中でEBMや臨床推論が生かされる。）</p> |
| <p>□診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（毎日開催されるカンファランス、院内各科との総合カンファランス、専門家との対診など）</p> |
| <p>診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））</p> |
| <p>□当該診療科におけるべ外来患者数 200名以上／月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ）</p> |
| <p>□当該診療科における入院患者総数 20件以上／月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ）</p> |
| <p>研修中に定期的に行う教育</p> |
| <p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （毎朝クリニカルカンファレンス、水曜日にテーマを決めた勉強会、外国人講師を招いての症例検討会（年1回）） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ）</p> |
| <p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p> |
| <p>本プログラム以外の参加プログラム数 （1） プログラム名（ 自治医科大学附属病院内科専門医研修プログラム ） プログラム名（ ） プログラム名（ ）</p> |

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

| 必修研修：内科 | | | |
|--|-------------------------|------------|-----------------|
| 研修施設名 | 岩手県立久慈病院 | 都道府県コード 03 | 医療機関コード 0710355 |
| 領域別研修（内科）における研修期間 | | (12) カ月 | |
| 指導医氏名 | 柴田俊秀 | | |
| 有する認定医・専門医資格 <small>※内科に関するもの</small> | 日本内科学会認定医、日本神経学会専門医、指導医 | | |
| 要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| 研修の内容 | | | |
| □病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する | | | |
| 施設要件 | | | |
| ■医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である | | | |
| ■内科専門研修プログラムに参加している | | | |
| ■内科病床数が 50 床以上ある（ 123）床 | | | |
| ■内科常勤医が 5 名以上いる（ 10）名 | | | |
| ■内科指導医が病院全体として 3 名以上いる（ 4）名 | | | |
| 診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| ■当該診療科における入院患者総数 40 件以上／月 | | | |
| □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ） | | | |
| 他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること | | | |
| 本プログラム以外の参加プログラム数（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

| 必修研修：小児科 | | | |
|---|----------|--|-----------------|
| 研修施設名 | 岩手県立久慈病院 | 都道府県コード 03 | 医療機関コード 0710355 |
| 領域別研修（小児科）における研修期間 | | (3) カ月 | |
| 指導医氏名 | 遠藤正宏 | 有する専門医資格（ ） <small>※小児科に関するもの</small> | |
| 要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| 研修の内容 | | | |
| ■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する | | | |
| ■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1 次救急を中心に経験する | | | |
| ■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ | | | |
| 施設要件 | | | |
| ■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる | | | |
| ■小児科常勤医がいる。（ 2）名 | | | |
| 診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| ■当該診療科におけるのべ外来患者数 400 名以上／月 | | | |
| □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ） | | | |
| 他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること | | | |
| 本プログラム以外の参加プログラム数（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

| 必修研修：救急科 | | | |
|--|----------|--------------------|-----------------|
| 研修施設名 | 岩手県立久慈病院 | 都道府県コード 03 | 医療機関コード 0710355 |
| 指導医氏名 | 皆川幸洋 | 有する専門医資格（救急医学会専門医） | 専従する部署（救命救急科） |
| □研修期間（3）カ月 | | | |
| 要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| 研修の内容 | | | |
| ■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する | | | |
| 施設要件 （下記のいずれかを満たす） | | | |
| ■救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設 | | | |
| ■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上） | | | |
| 診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| ■当該診療科におけるのべ救急搬送件数 1000件以上／年 | | | |
| □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している | | | |
| 具体的な体制と方略（ ） | | | |
| 他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること | | | |
| 本プログラム以外の参加プログラム数（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |
| プログラム名（ ） | | | |

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

その他の領域別診療科

| 領域別研修：整形外科 | | | |
|--|----------|-------------------|-----------------|
| 研修施設名 | 岩手県立久慈病院 | 都道府県コード 03 | 医療機関コード 0710355 |
| 指導医氏名 | 菊池修平 | 有する専門医資格（整形外科専門医） | 専従する部署（整形外科） |
| □研修期間（3）カ月 | | | |
| 要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| 研修の内容 | | | |
| ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な common disease の診療を経験する | | | |
| 施設要件 （下記のいずれかを満たす） | | | |
| ■（整形外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる | | | |
| ■（整形外科）科常勤医がいる。（2）名 | | | |

※その他の診療科が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること

その他の研修施設（例：臨床疫学などの社会医学の研修や保健・介護・福祉関連の施設等での研修）

| 領域・分野： | | | |
|--------------------------------------|-------|----------|------------|
| 研修施設名 | 久慈保健所 | | |
| 指導にあたる医師名 | 鈴木宏俊 | 有する資格（ ） | 専従する部署（所長） |
| ■研修期間（3）カ月 | | | |
| 要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように）） | | | |
| 研修の内容 | | | |
| ■総合診療専門研修のプログラムの理念と合致している | | | |
| ■総合診療専門研修プログラムのカリキュラム内にある研修目標と関連している | | | |
| （具体的な関連性： ） | | | |

指導体制

- 研修期間中、該当領域・分野の指導にあたる医師から、適切な指導やサポートを得られる
- 研修修了時点で、総合診療専門研修プログラムの関連する研修目標に対応した評価を行うことができる

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること